名電工高新聞

編集兼発行　名電工高新聞部
印刷所　共生印刷株式会社

新聞部員
路男生弘基己弘仁誠行秀
広鐘幸直政郁守俊茂
井田井輪田木木橋橋
寺草安三和矢鈴高高森高井

第二十二回卒業生

千有余名を送る

その前途に栄光あれ

千種台　風さやかな丘に三とせの学業なって、第二十二回の卒業生諸君の巣立たれる日が来た。

千有余名の諸君は、いよいよ社会人として活躍されることになったのだ。

特に最高学年としてのこの一年間を回顧されて感慨の深いものがあったことと思う。

積み重ねによって育てられた力社会生活の世界に歩を進められるための努力。

それは、自分を築き上げて行く希望と理想を目指しての精一杯のものであったに違いない。

進学の諸君には、ゆるがせに出来ない学力鍛錬の連続であり、就職の諸君にとっては、誰にも負けられない実力養成の日々であったと思う。そしてその日がきたのだ。

晴れやかな諸君の栄光の日がきたのだ。

来る年も来る年も世界に新しい出来事が現出する。それに直面するわれわれ青年の使命。臆せず悪びれず堂々と前進したいもので、昭和四十六年度の卒業生諸君にも、それを期待したい。

諸君の一挙手一投足が日本の将来を左右し、世界の様相を変えることになるのだと自覚して、今後いっそうの自重を望むものである。

その諸君のために、学校長先生のお言葉をいただいたので、熟読玩味していただきたい。

卒業生におくる

学校長　後藤　淳

蛍雪の功なりめでたくご卒業のみなさんに心から慶祝の詞をおくります。

学園長だった後藤鉀二先生の急逝は学園を暗雲にとざし諸君も大きなショックを受けたことと思います。

思えば三年前諸君の入学式の席上、祝辞として故学園長先生は、「初心忘るべからず」の名言を諸君におくられ三年間の高校生活が、最も充実したものとし悔をのこさない生活を希望されたことを、思い浮べるのであるが、一月二十二日入院先の岡山病院の一室で忽然として、六十五才の生涯を閉じられたのであります。

其の日から私は先代学園長の遺志をついで学園の経営にあたり学生、生徒―職員一丸となって、打ちたてられた構想の実現に努力する決心を固めました。「誠実、勤勉」を校是とした、学園創設者、祖父後藤喬三郎先生の意志を脈々と伝え、前学園長後藤鉀二先生が大成され、電気工学を中心とする大綜合学園に進展し、中部地方における特異な存在として六十年の年輪を経た今日いよいよ発展の途上にあることは、慶賀に堪えないところであります。

諸君は斯うした環境の中において三カ年の高校生活中、基礎的な理論と技術を習得し、近い日、あこがれの実社会へ、或いは大学に各々道を求めて、希望を抱き出発する日も近いのであります。高校の三年間、前学園長の論された「初心忘るべからず」をかみしめて身心共に健全に育った諸君が、新しい天地に新しい生活にはいるにあたり今一度「初心忘るべからず」を確かめていただきたいと希望してやみません。

本年学園創立六十周年を迎える、記念すべき年にあたり、諸君は、二万人を越す諸君の先輩の列に入り、在校生以下将来諸君のために後輩となる多くの人々のため、一段の努力を希望いたします。

悠久の歴史の中にあって諸君の五十年の活躍は小さいものかも知れませんが、同窓生という言葉によって目にみえぬ糸で結び合う貴重な関係は諸君の一人一人の活躍個体としての完成が集積として大きく評価される要因となることを心に決し、一日一日の行動を必ずおくるよう特に切望をいたします。

「中部地区電灯線のあるところ必ず卒業生あり」と言われるように電気工学を中心とする、事業場、工場等今も一万五千人をこす諸君の先輩は現職としてそれぞれの分野で活躍され、諸君等を迎えることに大きな期待をもって待ち望んでいるのであります。

しかし、新らしい社会は諸君が想像するような安易なものではなく、どの方面にすんでも、現実はきびしいものであります。幸に諸君は三年間きたえぬいた身も心も健全であり、現実のきびしさに堪えぬいてなおあまりあるものと思い心強く感じて居ります。

諸君の発展活躍は、母校の進展に直結するものであることに思いをいたし、健康に留意し日々自らを省み与えられた使命に対し、常に情熱を傾むけ悔いない生活が集積されるよう若い諸君に希望してやみません。

卒業後はときどき母校を、訪ね後輩の激励をお願いし諸君の一段の活躍を祈って「卒業生におくる言葉」といたします。

卒業生におくる

三年主任　野牧一雄

うららかな陽光に恵まれる春三月となりました。三カ年の高校生活を終えめでたく卒業される諸君に、心からお慶びを申し上げます。

三カ年の高校生活は、決して長い期間ではありませんが、諸君の生涯の中での基礎的な知識、技能を修得し、多極化する社会に充分適応する一般教養をも身につけました。そうした意味で、高校三年間は非常に重要な時期であったと思います。

明日から就職に進学に、それぞれ道を求めて洋々たる前途にむかって出発されるわけですが、学校で培かわれた頑強な身体と強固な意志力は、波風の強いであろう社会において活躍して尚あまりあるものと信じます。加えて校是として諸君の心深く刻みこまれた「誠実・勤勉」をもってすれば、諸君の将来は希望に満ち、夢多いものであると思います。

しかし、永い人生の年月の間には幾多困難や苦脳におそわれることが予想されますが、正しい判断によって処理し成長してゆくことが日々の勉学であると思います。

特に就職される諸君は、夫々の職場において自分自身の力で最適の職場である場、職場になくてならない一人、貴重な存在としての一人となる様不断の努力を希望してやみません。

本年は学校にとって後藤鉀二学園長の急逝という全く予想もしなかった不幸に見舞われたのですが、創立以来六十年にわたる脈々としてうけつがれた伝統は諸君の血の中に流れています。

二万名をこす諸君の先輩の列に加わり、中部産業圏を中心とする地域社会への貢献が母校に後輩に直結する道であります。一般の自重自戒、名電工高卒業生のプライドの上にたって行動していただきたいものと存じます。

現代の高校生には、二つの道がある。一つは無気力と、惰性に流された「三無主義」に見られるものと、もう一つは日本のそして世界の政治は自分一人で動かしているような、自信過剰な人とが、あげられる。

ではなぜこのような二つの大きなセクトが作られてしまったのでしょう。現代の高校生は目的観を見失なうなかか！

辞書には「事をなしとげようとする目あて」意識！とありますが、では事とは何か！

世の中では、目的観が失なわれたと、よく言われていますが、その目的観とはまたなにを意味しているのでしょうか！。

目的とは、ぼくなりに個人個人が持っている「ゆめ」であり、それをなしとげようとする努力ではなかろうか、「人間は年をとるにしたがって「ゆめ」をなくしていくとある精神学者が言ったことがありますが、現代に、おいてぼく達は大きなゆめがあるだろうか！現実の社会には、ぼく達のゆめを、こわしていく多くの物があるのではないか。

かえり見るに、ぼく達と同じ年れいでも、大きな「ゆめ」を心の中に持っている人々もこの時代にいることも、たしかである。現に「中国」の青少年達がその大きな「ゆめ」を持っている人の中に入るように思われる。それは中国の理想的青年像といわれている王杰という人の日記の中に「祖国のために、青春をささげる必要が生じても、もんくは言わない」「私は革命こそ、私の理想、闘争こそ真の幸福だと悟った」（一九六四年九月三日）と言っています。

ではこのような「ゆめ」を、なぜ中国の人々は持っていて、ぼく達は、そのような「ゆめ」をこわされる物ばかりが、多くあって、そのような「ゆめ」が持てないのが、指導者が、いるからでしょうか！。

否、ぼくは、哲人ヒハティの言った「人生は、たえまない前進、すでにあったことの、くり返しではなく。毎日毎日が、一つの創作である」と言ったことばがあてはまると思うしそこに答えがあると思う。それは、いくらりっぱな指導者がいても、ぼくたちが創作しようといった心を、失なった時に、その指導者が声を、大にしてさけんだところで、しょせんは、むだだと思う、人生にやり直しは、きかないのです。

ぼくたちは、この創作の多くが失敗してもいいではないかといった大きな心を持って、その創作を作っていかなければならない。西欧の哲人は「青春という辞書には、失敗ということばはない」といっている。失敗をすればするほどに、現実のきびしさが、ありありとわかってくる「こんちくしょう」といった気持ちが、必要ではないだろうか！。

現実のきびしさ、体制の中に入いっていって、その中で新しい創作を作り出していく、又そのきびしさを身をもって知っていくことが必要だと思う。アメリカの詩人ホイットマンは「寒さにふるえる者ほど、太陽のあたたかさを知る、人生の悩みをくぐった者ほど、生命の尊さを知る」と言っているし、又イギリスの小説家ゴールドスミスはその本の中で「貴方の最大の光栄は、一度も失敗しなかったことではなく、倒れるごとに、起きるところにある」と言っていますが、まさにこのことではないだろうが自分の環境が悪いからと言って、その環境から、にげ出していくような者は、まさに、敗北者のすることではないだろうか、自分は自分なりにその環境を変えようと努力もしないで、「自分の環境は悪いのだからしかたがない」といった敗北者的な考えかたを持っていては、絶対にその環境は、変わっていかないし、又ほかの、だれかがその環境を変えてくれるわけでもない。自分の創作を、よりすばらしい物にしていくには、そこに体制えの、たえまない挑戦をしていかなければならない。

この社会には、多くのぼく達の「ゆめ」をこわす物がある、それにぶつかり、失敗すれば、なんどでも、アタックして、自分の作った創作を大きくしてゆくべきだと思う。

現在人間は、学名を「ホモ・サピエンス」「知性人」とつけられている。これは人間の特質人間の力は、考えるといった力であるといったことからつけられた。又、フランスのアンリ・ベルグソンは「ホモ・ファベル」と名ずけ、その特質は、「人間が物を作り、つかうことそして物をよりよく、つかいやすく作り変えていくこと」とつけた。にあるから「工作人」とつけた。又、オランダの歴史家ホイゾンガは、人間は遊ぶことが特質だと言って「ホモ・ルーデンス」と名ずけた。

しかし青年期には、そのどれにも入いらないように思う。それは、アインシュタインが「知性は方法や理論に対して、鋭い鑑識眼を持っているが、目的や価値については、盲目だ」といっているように、青年期に必要な、目的観に対しては、知性は、それほど重きを置かないのだろう。ただ知性は、これからの創作を作りあげていく上に必要かくべからざる、大きな武器となることは、たしかだ。

ましてや、工作とか遊びの中から創作は作り出せない！。

要するにぼくは、高校生の時代につける名は「自己完成への意志」これが必要なのではないだろうか。

自分の持った「ゆめ」「創作」をより大きく育てていこうとする努力、またそれが、真実であるように、努力すること、その時点において、始めて前に言った、知性も、工作も遊びも、すべての動作が、このために必要になってきて、その一つも、かけることをゆるさなくなり、あらゆることを、経験してゆこうとするときに創作を、作り出そうと、現実に挑戦していったことが、けいけんとなって、よりいい方法によって、挑戦していく方法を、見つけ出していくのではなかろうか！

このことが「自乙完成への意志であり、それをなしとげようと、努力の連続ではないだろうか。

ある詩人が「汝の運命の星は、汝の胸中にあり」と言っている。又、ドン・キホーテで有名な、セルバンテスは「いのちある限り希望がもてる」と言っているし、又中国に「地に倒れる者は地によって起つ」」ともいっている。自分の目的をきめ、それにむかって挑戦していく。それを、あきらめるからこそ目的観が、見失なわれるのだ。

要するに、目的観を見失なったといっても、自分が何かをしていこうとする心を持たなくてはだめなのです。

それを自己完成への意志又は創作しようといった心なのです。しょせんは「心の持ちようではないか。

ただこれを実践に、うつすのが、むずかしいから、ざしょうするのです。「心に持つだけのゆめ」ならだれでも、できるのである。

ご卒業の皆さんへ

生徒会長　鈴木守弘

三年の皆さん、一人一人の心の中に実社会に出ていく不安やら、未知の世界に対する果てしない夢などが入りまじって、複雑な心境でおられることと思います。

しかし、こんな気持ちを一日も早くぬぐいさって、もう一度現在の自分をよーく見つめて、更に一歩前進してほしいのです。

皆さんの中で、実社会に出ていく人もいれば、さらに上の学校に進む人もいるでしょう。人それぞれ個性がちがうように、みんな人生の道がちがうはずです。ですから、こんな社会は、いやだと思っている人が今皆さんの中にいるとしたらおかしいことです。

その会社で働いていないのに自分には合わないとかこの会社は気にいらない、だから、会社をやめるだなぞと言わず、最後まであきらめないでほしい。ここであきらめては、人生の敗北者になってしまうわけです。

三年の皆さん、けっして人生の敗北者になってはいけない。

それよりも、人生の勝利者であってほしい。

しかし、長い人生の間にはいろんな問題や事件が起きるだろう、だからといって消極的になる必要はない。そういう壁を真正面からぶち破っていくだけのファイトを持ってほしいと思います。

そして、就職する皆さんへ今まで、学校においても家庭にあっても、結果より経過を重要視されてきました。たとえ、ミスをしたとしても「頑張ったんだから」と言ってすごしてしまったことはないであろうか。あまりすぎた。

しかし、社会に入るとそういうわけにはいかない。いくら一生懸命やった仕事でも、ミスをしてしまえばそれまでです。ミスはミスとして評価されるのです。自分の責任によって仕事をしていくことなのです。それが、大人としての行動となるといえるでしょう。自分自身が、社会人としての自覚又は誇りをもってほしいものです。

そして、大学に進む皆さんだけ一生懸命、勉学に励み知識を向上させて英知を磨いてほしいものです。

論説

自由・平等

人間の基本的な人権として、自由・平等が強く要求されている。われわれ高校生も、まず自由であり平等であることを要望するものである。

しかし、自由・平等とは何かを知り、それを根底とした人間になることが第一である。

自由とは、法律の範囲内で思うままの行動をとることのできることであり、すべてかたよりなく、ひとしいこと・差別がなく一様であることが平等の意義である。

ここで考えなければならないことは、自由に於ける法律の範囲内と一様である極的に希望を申し出るということがあって不思議ではないと思う。

われわれ生徒が、理想的な人間に到達するために、次代を背負う理想的な人間であるための修養期間であるわれわれ生徒は、未完の人間であり、また、可能性のある時期である。

そのわれわれは、理想的な人間像を目ざして指導にあたっておられる学校・先生方と、目的を一にし理解し合い協力し合ってこそ、真の意味の自由が得られることになるのだ。

このことが理解されないで、真の自由・人間社会の自由は実現しないのではないか。

完全でないおとな達が、無限の可能性をもっているわれわれを規制することはおかしいという論理で、なんでもそのことを理解しようという努力抜きにして、単に反抗してみるということだけでは、破壊があるだけで建設はあり得ない。

これでは、真の自由が得られないということなのである。

平等、一様にひとしいということは、名電工高の生徒である場合、どのようなことなのかも、じゅうぶんに考えてみたいものである。

この場合、与えられるものについて平等を要求することだけではないはずである。ひとりの生徒として、自分が他に対してどのように一様であり得るかという精神面での反省が必要なのではないか。

他からの恩恵に対して強く平等を要求することは正しい。しかし、その前に、自分自身が他に対して平等であるかが問題になる。しかも、平等は、個々に対して差の生じることを考えなければならない。

例えば、愛情について―

―われわれが動物をかわいがる場合、犬と猫と小鳥に対して全く同じ方法・態度をとることはあり得ないということなのである。従って、平等とは、個に対して同一の形であらわれることは全く無いと考えてよい。だからこそ、平等の精神とは何かを確立させることが肝要である。

われわれ生徒は、学校・先生に対して、強く自由・平等を要求する。そのことは間違いではない。だが、自由・平等の実態を理解すること無く、自分自身のそれに対する理解と努力の積み重ねなくして、一方的に自分を望むことは、われわれ自体が自由・平等を踏みにじることになるのではないか。

ドルショック物かは

全員就職

ニクソン声明以来、急激に深刻度を増した不況の波は、新卒者の就職戦線にも厳しい影響をもたらし、本校もその例外ではなかった。求人全停の通知を寄せた事業所約五〇社を始め、大幅削減や第一次選考だけ行なって、以後の求人打切りを表明してきたのが六〇数社に及ぶ状況だった。

しかし、本学園は六〇年の伝統に輝くお蔭をもって求人社約千数百社、延べ二四〇〇名の多きに達し、些かの不安もなく、殆んど全員採用内定の通知を受け得たことは、喜ばしい限りである。

これは偏えに学園長、校長を中心とした、全学園の先生がたのあたたかいご指導並びにP・T・A各位や諸先輩の熱情溢れるご助力の賜と深謝している。

しかし、世相は今後ますます不況の度合を強めていく事をおもう時、こうした有難いご後援に甘えることなく、実力と勇気をたくわえて、時代の要求する真に正しく、力強い人間をめざして精進と努力を続けなくてはならない。

そのためには、常に健康な身体と強固な意志をもって、明朗で豊かさに充ちた人間を目指さねばならない。

学力もなく、ファイトもない者は人生の落伍者となる事を銘記すべきである。

学校祭入選論文

現代の高校生

れなん　横井修爾

シキシマパン
高級和洋菓子

合資会社　紅扇

高校生活には「コース」がある！
学力を伸ばし知性を高める
高1コース
学力を伸ばし進路を決める
高2コース
現役合格をめざす高3生に
高3 大学受験コース
毎月14日，全国でいっせい発売
「コース」三誌は高校生に最もよく読まれている雑誌です（毎日新聞社編「読書世論調査」で一位）。「コース」とともに前進しましょう
あなたの適性職業と大学判定　電子頭脳による総合診断と指導
発行　学研　〒145 東京都大田区上池台4－40－5

各種板硝子・鏡
井伊ガラス
共栄式ビス

健康の環を世界に
広げる森永乳業……
春です毎日午乳を飲んで
立派な身体を作りましょう

森永牛乳
玉木販売所　千種区上野町五の六五　TEL（711）2235

われらの父 後藤鉀二先生逝去さる

―正四位勲二等のご遺業を称えて―

われ等が敬慕し、わが学園の象徴であられた、学園長後藤鉀二先生が急逝されました。

時に、一月二十二日午前十一時三十分、青天のへきれきとはこのこと、お聞きした時は、わが耳を疑うという状態で、しばらくは為すすべもなく、一切空に帰した思いであった。

六十五才のご生涯を電気学園と世界卓球界にかけられ、一以て之れを貫くという不動の信念とその情熱とそして、偉大な足跡を残されて、ついに帰らざる旅路につかれたのである。

学園長先生は、さる一月十七日の夕方、名古屋国際ホテルで催された、中部測量専門学院（四十七年四月開校）の披露パーティーに出席される直前、同ホテルで、心筋こうそくと解離性大動脈リュウ破裂による発作のため岡山病院に入院手当てを受けられていた。

予断を許さぬ病気とあって、極めて慎重に治療を受けられ、三日四日と経過するに従って症状も快方に向かわれ、二十一日には元気に冗談を飛ばされるほどでご家族の方々はもちろんわれわれ一同安堵の思いであった。

日頃お元気で、つやつやしたお顔に笑みを浮かべ、「勉強も大事だが、お前たちは男だろ男の為すべきことは何かわかっとるか、何としても身体の健康第一だ。一人前の男になるための努力を忘れるな。」とはげまされていたわれわれは、こんなにも突然、先生の死に直面しようとは思わなかった。

二十二日、先生のご逝去を知らされ、思わず黙禱をささげたが、先生のお姿が目ぶたに焼きつけられて離れない。

学園長先生のご逝去を悼んで、ニュースは全日本・全世界に伝えられた。

ある新聞には「明治の気骨男」消えると言い「ピンポン外交に貢献」と、偉大だった先生の死を惜しんで報道されていたが、われわれ電気学園の生徒としては豪快でしかも、その中に温か味のあるオヤジを失った悲しみで、その外の言葉は知らないと言った状態である。

謹んで、学園長後藤鉀二先生の死を悼み、ご冥福をお祈り申し上げます。

先生のご足跡

先生は、明治三十九年十一月十三日のご誕生、明倫中学校（現明和高校）浜松高等工業学校（現静岡大学工学部）を卒業。

大正十四年、先代喬三郎先生の後をついで名古屋電気学校の経営にあたられた。当時二十才を出たばかりの青年校長であった。

昭和二十四年、電気学校は、現校名に改称され、同三十五年には、愛知工業大学を設立、幼稚園から大学までの総合学園として発展したもので、一に先生のたくましい信念と、独時の発想によって築き上げられたのである。

この間の先生のご労苦は大変なものだったに違いなく、時には、一日三時間の睡眠で、頑張り続けられたこともあったという。

この先生のご功績に対して、昭和三十九年には晴れの藍授褒章をお受けになるに至ったのである。私学の振興に寄与されたご功労に対する栄誉をお受けになったのである。

先生のスポーツ界にお尽くしになったご遺業も、歴史の一頁を飾るものであった。

先生は、生来のスポーツ好きで、剣道教士の腕前。名電工の経営にあたられるや、いち早く卓球を取り入れられ、校技として青年の鍛錬にあたられた。

このお考えは死の直前まで実行され、どんな多忙の際も、必ず生徒の練習振りを確かめてからでないと自宅へお帰りにならなかった。

日本卓球協会長を始め、各種スポーツ団体の役員を務められ、その数二十に及ぶというご精励ぶりであった。

殊に、昨年名古屋市で開催された世界卓球大会には中国選手を招待その参加に精魂をつくされ、世界平和のかけ橋ともなられたのである。東奔西走とはこの時のこと。

先生は卓球に生涯をささげられたと評する人もあるが、まさにその言葉どおりであったと思う。

世界卓球選手権大会が終わったとき、先生の眼に涙が光っていたという。

ああ　われらの父

後藤鉀二先生今やなし

先生のご足跡の一端を記して　静かに　安らかにお眠りなさることをお祈りする。

先生への賛辞

○たよりになるオヤジと慕われる。

○卓球の鬼　後藤鉀二先生に豪快な笑い。

○卓球の父　ピンポン外交の生みの親。

○明治の気骨を失う。

○まだまだこれから働ける人。

○人間味豊かだった先生。

○日中両国の親善に行動を持って努力。

○強い信念で体育普及。

○物に動ぜぬ豪胆さを持った人。

○かけがえのない人であった。

密葬勧修さる

一月二十五日、午後一時から、先生のご自宅で、おごそかにとり行なわれた。

先生のご功績を偲んで、まことに盛大であった。各界の名士はいうに及ばず中国の人も参列。

二千人にも及ぶ人の波、車の波であった。

正四位勲二等を賜わる

日中院龍門鉀徹大居士。

これが、先生のご法名である。

先生の生前の、教育界・スポーツ界に尽くされたご遺業に対して、正四位勲二等の叙位叙勲があった。民間人としては、破格の栄誉であるという。

合同葬営まれる

二月二日、この日冬には珍らしい晴天であった。

後藤鉀二先生の合同葬が覚王山日泰寺で盛大に営まれた。

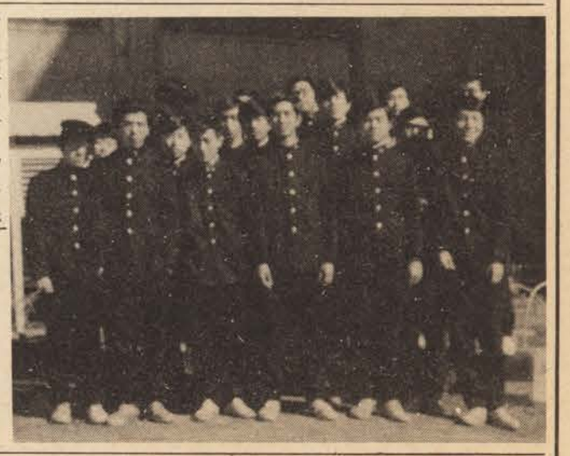
名古屋電気学園と日本卓球協会の合同執行であった。

祭壇は白と黄色の菊で埋まり、その前には長さ一・六メートルもある大きな卓球のラケットが置かれ、それを後にして先生の大遺影が飾られてまことに印象的であった。

桑原愛知県知事を葬儀委員長として、午前十二時から始められたが、各界の名士が相継いで参加され、先生との別れを惜しんで、その霊を弔われたのである。

全校三千の名電工高生、われわれも一人残らず参列し、ご焼香。心中に、先生のご遺志を継ぐことが出来るよう誓った。

伝えるところによると、この日の参列者は一万人を越えたという。いかに、先生のご遺徳の大きいかを示したものとして銘記し、われら名電工高・電気学園の誇りとして、永久にたたえたいものであると感じた。



クラブ案内　園芸について

私達の日常生活をより明るく楽しくして、美しく住みよい環境に恵まれた社会を作るには「花」が必要です。それは人々の心をやわらげ、希望と安らぎを与える一番よい手段であると思います。

そして花は自分が丹精して育てる時、よりいっそうの喜びが味えるものではないでしょうか。

近頃は花一ぱい運動が盛んで、公園や校庭のみならず繁華街のビルの一隅にも、そして一般の家庭にも四季折々の美しい花が見られる所が多くなって来た事は、喜ばしい事です。

本校に於いては十数年前に園芸部が誕生し、よい環境を作る為にと数々の花壇を作って参りました。十年程前高校が現在の中学校がいる校舎で、勉学にいそしんでいた頃が最盛期だったと思いますが、南に百本以上の蔓ばらで囲まれた様々な種類の花壇を、色とりどりの花で飾った思い出は忘れられません。

そこは大学のクラブ室を作る事などの為、全面的に徹去されましたが、園芸部員はそれにもめげず新しい計画のもとに、心を合わせて花壇の設計管理に取り組んで参りました。

今や高校の建設計画も一段落したと思われますが、昨年の秋にはニューデザインの三角形の花壇を、二年、一年約三十名の部員が数日に亘って作り上げた事は、皆さんも中庭を見下してご存知の事と思います。

ここには既に春の息吹きを感じて、二百数十本で五色のチューリップの芽が日増しに伸びつつあります。やがて春爛蔓、新入生を迎える頃には満開となり、皆さんの眼を楽しませる事と、我々部員一同冬でも肥料、水やりなどの手入れに余念がありません。

その他本年はかねてから第二体育館の南に作って戴いた台形の花壇に、椿や、さつきの類など植えて、今まで淋しかった一隅に色を添えるべく計画を進めております。

日々単調に明け暮れして無味乾燥に過ごしやすい学校生活を、花を愛し眺める事によって、潤いのあるものにするべく、つとめて戴きたいと思います。

アメリカを観て

教頭　長尾正男

まず旅行の目的は正式には。昭和46年度愛知県私学教職員海外研修〟という長い名前のついたものでした。参加は淑徳中、椙山高、瑞穂高、藤ノ花高（豊橋）の4名の先生と私を合わせて5名。日程は8月下旬より5週間と指定をされていたので9月30日より逆算して8月27日に出発したのです。訪問地はロスアンゼルス・グランドキャニオン・デンバー・デトロイト・バッファロー・ワシントン・ニューヨーク・フィラデルヒヤ・ボストン・サンフランシスコ・ホノルル。

アメリカの学校の新学期は9月の第一月曜日がレーバーデーで、その後に学校が始まるので、学校訪問は旅行後半になってニューヨーク・フィラデルフィヤ・ボストンで目的が達せられました。それまでは、ロスアンゼルスアスレティッククラブ・ヘルスエテュケイションアンドウェルファー（HEW）・ナショナルエドケイションアソシェイション（NEA）・ニューヨーク教育委員会等を訪れてアメリカの教育のありかた等を、おおよそつかみ得たと思います。アメリカの現状は今日本で実施中の六・三・三制度であるが、古い時代の四・四・四制度の残りがあるようで大学進学の成績は四年間分既ち中三と高校三ヵ年分が報告され資料になっている。

大学進学には入試は無く落ちるは承知で程度の高い大学に出願するようなことは無く、自分の程度に応じた大学に出願しておけば大体、入学は許可されるようだ。高校生は受験勉強でなく毎日の授業を熱心にうけることが大切で皆その様にやっている様子、訪問校フィラデルフィアのフレンズセントラルスクール（私学）・ニューヨークのジャマイカハイスクール（公立）・マサチューセッツ州ウエルズレイのダナホールスクール（私学）・チエストナットヒルのピーバーカントリーデースクール（私学）・ミルトンのミルトンアカデミーハイスクール（私学）・カンブリッジのブラウンニコルススクール（私学）・ナショナルアソシエイションオブインデペンデントスクルーズ（NAIS）で私学は紹介を得て訪問したものであるが私学の中でも優秀校を選択したものらしく、生徒の躾もよく、設備も充分で、余裕をもって授業が進められている。物理化学等の実験装置は古いものを大事に使っている模様。

敷地の大きさはさすがで、在籍六〇〇人位で日本の一〇倍位はあるようだ。大きな校地の中程にちょんと校舎があって、附属の寮や食堂が校舎より大きくて二・三倍はとってある。

公立高校は都市部では大規模で二五〇〇名位の設備で四〇〇〇名程度収容している時間差をもうけて生徒も先生も出校している。朝早くから夕刻まで学校はどこかで授業がおこなわれている。ある教室等は机が不足して教室の横側にある長椅子だけで一生懸命勉強しているところもあった。

公私立とも美術・音楽に対する考え方は、これによって人間形成をしているこの設備は大きくて立派だ。防音装置つきの個室が三・四室くっついている。又フリータイムと称して自習時間が時間割に組みこまれて図書室等で静かに熱心に勉強している姿は、印象的だ。

旅行中の感想を一つ二つ…先ず言葉の点は外国語独特の発音日本語に無い音の出し方と聞き方かな書きの通りにしゃべっても通用しないもの、「オレンジ」や「ハム」。聞き分けにくいものに13と30等。手まね、身振りを含めてやっと、字に書いたものはポケットにある辞書で処理する。食堂でメニューを見れば辞書と首びきで依頼する。紙きれに単語を並べて書いて一語ずつ確認して此方の意志を通ずる。

これは割合うまく、いったようだ。これからの時代の人はこんなことでなく英語の会話に充分役立てよう英語の勉強をしてもらいたい。

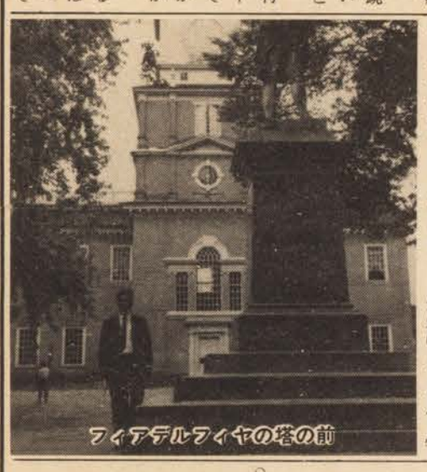
時差の調整ということを出発の前に聞いていたが体験して見るとこれは大変なものだ。人間二十四時間周期で生活しているものが、一日が十五時間になったり、二十九時間になったりするので身体の生活周期とのずれが身体にこたえて来た。太平洋をジャンボ機で一跳びは時間は短いが後できいてくる。解決はよく寝ることだ。

アメリカ人の飛行機の利用は日本のバス並だ。イースタンエアラインは空港で名前を書くだけ、飛行機が出発したらスチワーデスが切符をあつめに来る始末。中には現金で支払っている乗客もある。終った頃には飛行機はワシントンからニューヨークまで飛んでいて着陸用意だ。汽車より時間的に早いことは勿論だが汽車の一等より安い飛行機が利用されるは生活の知恵もいうのか。

国の大きさは格別で、サンフランシスコは夏でも暖房がしてある又冬になっても下着をかえなくてもいいそうで、風邪をひいてしまって帰国してから一月半程なおらなかったのも話の種になった。

歴史的なものを大切にすることは歴史の浅い国ではあるが非常に留意されているのも何か愛国心に結びつくのが感ぜられ、日本の失なってしまったのではないかと思われこれを再認識させられた。

お金の価値について日本を出る時一ドル三百六十円で買って出て帰国した時交換は一ドル三百二十八円になっていたが、アメリカでは一ドルは大体日本の百円程度の価値で購入出来るものその程度のもので、給料も初任給が六百ドル程度で、これも一ドルが百円に相当と考えてよい。中型車が二千ドル程度月給の三ヶ月分で購入出来る。日本では少し高いようだ。皆さんも海外駐在等のチャンスがあると思うが是非でかけて下さい。



フィアデルフィヤの塔の前

ドルショックと就職

◎ドルショックによってどのような影響があるか就職相談室の係の人にインタビューしてみた。

○現在の求人状況はどれくらいか。

事業所数で千二百社ぐらいで、現在までにドルショックで求人取り消しをして来た事業者の数が、四十一社で求人の延べ人数では、四千二百人程度。一社あたり三～四人程度、場合によっては一人しか求人しない所もあるが、多い所では、三十～四十人も求人する所もある。普通、求人数は一社で二、三人程度であろう。

○昨年に比べて、大きく違った点はどこでしょうか。

「ドルショックという大きなショックがあったので求人取り消しがあった」その結果一学期に求人表を受け取るだけで選考は十月二日から始まった。だから昨年わ

○ドルショックによってどの学年が一番影響を受けるか。

三年生はもちろんのこと、二年生が一番影響を受けやすい。なぜならニクソンがドルショックの声明を発表したのが八月の中旬であったので、今日までは半年程しかたっていないから大きく社会の経済市況を変えてしまうほどには至っていない。が本当には、現われていないのである。不景気というのは、これからになるとだんだん現われてきて、深刻に現われてくる。

だから現在の二年生の人はね、就職がそうとう苦しくなってくる。求人の数がへってくるだろうし、就職が思うようにできないという心配がある。

ただし、政府が早く対策をこうずることをやればいいけど、今の状態ではなかなか期待できない。外国との商談もうまくまとまらないので注文したいけど注文できないとなると、今までに、受けた注文をぼつぼつ消化するだけで、その次の商談をやるのに、時間がかかる。その期間中遊んでいるので、仕事がなくなるのでものすごく深刻になってくる心配がある。

○そうするとドルショックによって、これからの就職というのはそうとう厳しくなるのですか？

厳しくなる！四十七年も始まったばかりだけれど、今日もどんどん電話が入ってくるところによるとものすごく難しい、おおてが求人を取りやめたので、その下がさっとうして、今でもある所へ電話してみると五倍だと言う。いく所が決まらない者が今年はかならずいます。

○これからの一年二年にのぞむものは！

結局自分の能力や長所を、より期日が遅れていること。それから景気が悪くなってきたからいろいろと心配になってきた。先行き非常に心配になってきたので、景気に左右されない企業へ就職しようという人が多い。たとえば区役所とか市役所とか警察官とか消防署へ就職しようという人が昨年に比べると多くなって来た。なぜならドルショックによって景気が心配になったのでそういう現象が現われた。

早く発見して、そういう能力や長所をより伸して、とにかく自分で、これなら絶対他の人に負けない物を作るということと、勉強はもちろんしなければいかんが運動でも、そろばんでも、なんでもいいから、自分の長所の、伸びるべきものを早く見つけてそれを伸ばす。

○就職が全体に決まるのはいつか。

第一の選考は、もう始まっているわけだけれど、第一次の選考で採用内定になるものも、もちろんいるが、そうとう落ちてくる、その者は、第二第三の希望を受けなくちゃいかんことになる。その結果、年内には全部かたづかない。新しい年になって、一月二月遅い者に限っては三月あるいは卒業の前までかかる者がいる。

○最後に就職相談室はどのような役目をしているか、卒業生、在校生を問わず、とにかく就職一般をやっている。四季に関係なく事業所とかけあいをやっている。

たばこ

校内で煙草を吸ったとか学校帰りに煙草を買ったとか言って自慢している生徒の話を聞くことがある。

こんな環境が広がっていったらどうなることか。

煙草を吸ったことのあるらしい彼は、一回でどれだけのニコチンタールの量があるか、どの程度の害を及ぼすか知っていた。

そして彼は、なんとか吸うことを止めたい。そして学校や街中で吸うことだけは、今からでもすぐ止めるのだと言った。

だが煙草には、おとなのムードがあり、われわれ高校生はそのムードにあこがれ、その時のフィーリングで吸いたくなるものなのだ。

モラルや理性に逆って、おとなの前でそのまねをしたくなるものらしい。

このことは、悪いおとなと同じ事をすることになるのではないだろうか。

たばこにとどまらずわれわれ生徒には、してならない事それをやってはいけない事がある。

それを法則だからとか、こどもだからとかいって制止されると、奇妙に逆ってみたくなることがあるらしい。

それは理性というか英知というか、冷静な判断が出来ないということなのだ。

感情やムードに流されないで、確かなおとなになるため頭を冷やそうではないか。

編集後記

○暖かい冬の日が続いて、かえって身がしまらないといった感じ。だが不景気の折り日々の生活にはそれだけ余裕ができると喜ぶ人達もある。

○学園長先生ご逝去される。全く寝耳に水。先生のご遺徳を偲んで記事の特集をしたが、筆足らずで、かえって、先生のイメージを損わなかったかと思う。先生はもちろん、学友の諸君のご了承を得たい。

○横井庄一さんが、二十八年ぶりで奇跡の生還をされる。われら若い世代と隔絶した世界の人が現われたという感じ。とにかく静かにゆっくり休養をとられて、祖国日本のためにカムバックしてもらいたいものである。

○ことし第二十二回の卒業生である千有余名の先輩を送ることになった。三年間の高校生活で得られたもの、それは何であるか、一人一人で違うのは当然であるが、名電工高の卒業生としての自覚をもって、ご活躍をお祈りするものである。

ドルショックで、就職線戦にご苦労もあったことと思うが、元気でご卒業おめでとう。

○われ等高校生の悩みと迷い―七〇年代は人間尊重の時代だといわれているが―それはいつになっても解決されるものではない。だが、その悩みと迷いに耐え抜く意志と実力を身につけることが、先決の問題なのだ。

学友諸君　如何？

○いつの時でもそうだが、新聞の編集というものは難かしいものだ。

読んでもらえるわれ等の新聞にしたいという念願で取り組んだのであるが諸君のご感想はどうか。お考えをお聞かせください。

新聞部員募集中

○希望者は一階茶室の部室まで○

カラープリント　○免許証明用撮影　○2分間写真もどうぞ

純正仕上E判50円

名電高生格安!!

若水カメラ　名電工前 711－1869

キハラ製図器

三角スール（竹・セル張り）

曲線定規

T型定規

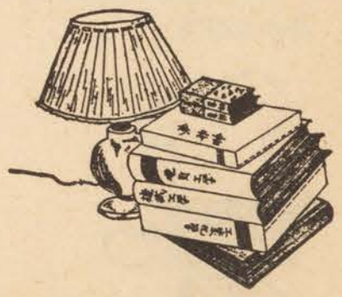
その他製図用具一式

名古屋電気工業高等学校御指定

株式会社 大附商店

TEL (231) 1744・3354

辞書・参考書の専門店



電気学園指定書店

正友館書店

千種区鏡池通2－13　城山中学校南

TEL (751) 2717